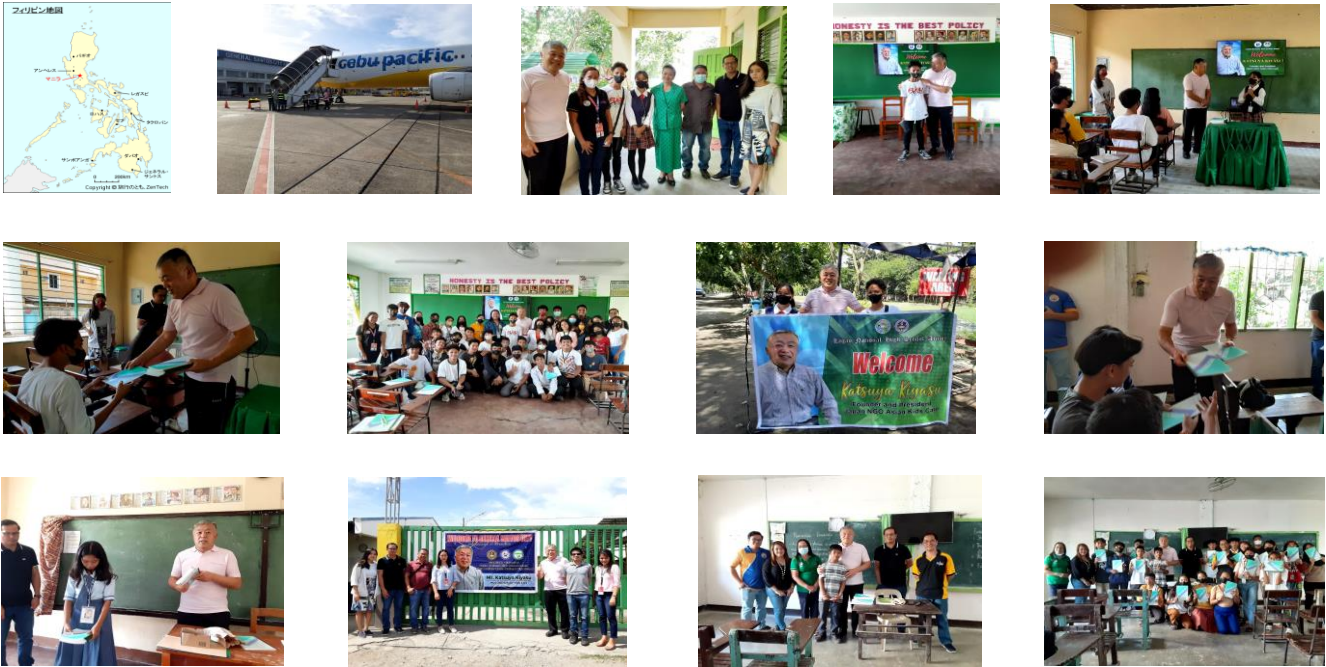


フィリピン現地訪問 … 子供たちと交流して支援物資をプレゼント、みんなが笑顔に!!

NPO 法人アジアキッズケア

2023年2月3日(金)から7日(火)の5日間、フィリピン・ミンダナオ島に渡航(北緯6度)。日中は35度を越え、日本との気温差が大きい。1日目は、教育支援をしている子供が通う3学校をエドワード氏(日本留学・現国立ミンダナオ大学農学部長)と一緒に訪問して、支援物資を配布し先生方と交流。皆さんが温かく歓迎してくれたが、子供たちが感謝の手紙を読んだ時には、ジーンときて思わずハグ。みんなが素直でたくましく成長しとても嬉しかった。コロナで海外との行き来が大変だったが、本当に現地に来てよかった。



フィリピン訪問2日目。教育支援の子供の家庭を訪問し、ファミリーと交流。6年ぶりの街の様子は、戦後の日本の高度成長に似ている。その中で取り残される貧困層。彼らの両親も懸命に働くが子供の数も多く、生活難は今の日本の現状に重なって見える。両親不在の中で、ヤングケアラーとして黙々と幼い妹弟(近所の子も)を世話する子もいる。様々な理由で学校に行けない子が約3割。アウレリオ氏やエドワード氏と一緒に、今後のサポートを話し合う。厳しい現実を前にして、自分のあまりに力不足を痛感。



フィリピン 3 日目の5日(日)。午前は、アウレリオ氏(ミンダナオ州教育委員会、牧師)の教会に一緒に集い、ショートメッセージと支援物資を配布。参加者は若い世代が多く、プレイズソングはパワフルで躍動的。子供たちが日本の国旗を持ち、感謝の歌と手作りのメダルを首にかけてくれた。午後は、教会敷地内でバスケットボール。フィリピンでは最もメジャーなスポーツで、コートやゴールポストも手作り。地域別の4チームでリーグ戦を毎日曜に行うが、スポーツの力は国境を越えてすごいと実感。ドリアンをごちそうになり、フルーツはとても美味。



フィリピンの4・5日目。全日程で、日本の皆様から預かった支援物資をまごころ込めて手渡した。貧しい子供や人々が笑顔で受け取り、皆様から、「心からありがとうございます。日本の皆さんに神の祝福があるように。」等のメッセージをいただく。アジアキッズケアは貧困の子供が学校に行くための教育支援(経済的援助)をしていて、原則的に高校卒業が到達目標。就職・自立して家族を支え、将来地域の支援リーダーに成長することを願っている。現地でたくさん走っているトライシケル(バイク三輪のタクシー)に乗って買い物。



ミンダナオ島のサラガンニ州教育委員会のトップリーダーと交流。日本の教育とアジアキッズケアの支援活動を伝え、感謝の言葉をいただく。ここでも女性が活躍し、隣のグラウンドでは野球をプレーしていた。様々な困難はあるが、みんなで力を合わせれば乗り越えられると実感した旅でした。全ての皆様に感謝します。

